

平成31年3月20日審議

1	申請者	神経内科医師	寺田 達弘
		2018-25	浜松PET診断センターのPET画像を利用した、脳神経疾患の後方視的評価
	研究の概要	脳神経疾患症例に対して、患者の紹介先である浜松PET診断センターにて撮像されたPET画像を用いて、当院で採取した神経症状および各種検査所見との関連を後方視的に評価し、脳神経疾患の病態機序を解明する。	
	判定	承認	本申請は承認された。
2	申請者	看護師	大松 泰生
		2018-26	「STXBP1遺伝子異常によるてんかんの臨床的特徴の解明」
	研究の概要	乳児期発症難治性てんかんは、大田原症候群、ウエスト症候群をはじめとしたてんかん症候群が含まれる。発作が難治であるだけでなく、重度の発達遅滞を呈する。近年、多くの原因遺伝子が同定されており、同一の原因遺伝子でも異なる臨床症状、経過を呈することがわかってきた。本研究では、乳児期発症難治性てんかんの原因遺伝子の一つであるSTXBP1遺伝子の臨床的特徴、てんかんを含む臨床経過について、後方視的に検討を行い、治療法の確立を目指す。	
	判定	承認	本申請は承認された。
3	申請者	治験主任	山本 吉章
		2018-27	診療データベースを用いた抗てんかん薬の副作用分析(改定第2版) 2017-67にかかる軽微な変更
	研究の概要	抗てんかん薬による副作用は治療継続率の低下と服用アドヒアランスの低下を引き起こし、治療失敗に繋がることがある。そのため、治療開始時に副作用の危険因子を推定する治療法の確立が重要であると考え、大規模診療データベースを用いた薬剤疫学研究を立案した。	
	判定	条件付承認	本申請は承認された。
4	申請者	治験主任	山本 吉章
		2018-28	抗てんかん薬の薬物相互作用定量的評価法の確立 －性差の影響の追加検討－ 2017-69にかかる軽微な変更
	研究の概要	てんかん患者の残血清及び尿より、血清中4β-hydroxycholesterol、尿中4β-hydroxycholesterol、性ホルモンなどのCYP3A活性に関わる遺伝子多型を測定し、CYP3A4の酵素活性と薬物動態の相関を検証する。	
	判定	条件付承認	本申請は承認された。
5	申請者	副薬剤部長	矢嶋 隆宏
		2018-29	入院前後における抗てんかん薬の服用剤数もたらす検査値に及ぼす影響について
	研究の概要	難治性てんかんの発作治療は複数の抗てんかん薬(以下、AED)を長期間服用する必要がある。今回、抗てんかん薬のポリファーマシー対くを講じる上で、入院前後でAEDの変更が検査値に与える影響について検討する。	
	判定	条件付承認	本申請は承認された。
6	申請者	神経内科医師	寺田 達弘
		2018-30	脳神経疾患における脳形態と脳機能の評価
	研究の概要	脳神経疾患の脳形態と脳機能を客観的に評価するため、頭部MRIを用いて、適切な診断、脳神経疾患の認知機能、神経症状の神経基盤を検討し、その病態解明に資する。	
	判定	条件付承認	本申請は承認された。